

科目名	基礎情報処理 Computer Literacy	科目コード	21180
-----	-----------------------------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・1年
担当教員	竹内 麻希子(電気電子システム工学科)
区分・単位数	必履修・2単位
開講時期・時間数	通年, 60時間【内訳: 講義 26, 演習 26, 実験 0, その他 8】
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ICT 基礎教育研究会, ネットワーク社会における情報の活用と技術, 実教出版, 2006 長岡高専・情報処理共通化ワーキンググループ, 平成 23 年度情報処理共通テキスト, 長岡高専, 2011
補助教材	別途資料を配付
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

情報化社会と呼ばれる今日, 情報や情報機器を正しく使えることは, 技術者として必須事項である。本科目では, 本校のコンピュータ及び情報ネットワークの利用を通じて, コンピュータによる情報の収集・活用・管理の基礎について学習する。

【B. 到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と, 各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
本校の情報ネットワークの利用方法を習得する。		(d1)
情報を操作する上での注意点について理解し, 実践出来るようにする。		(c1)
文書作成・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの基礎的な利用方法を習得する。		(e1)

【C. 履修上の注意】

技術者としてコンピュータは必須の道具となる。コンピュータに使われないように, 苦手意識を持たず積極的に実習に取り組んで下さい。また, 道具として使いこなす事だけではなく, 情報ネットワークにおけるマナーやエチケットを十分理解し, それを実践出来るようにして頂きたい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50 点以上を合格とする。

定期試験 (80%) 【内訳: 前期中間 0, 前期末 35, 後期中間 0, 後期末 45】

その他 (20%) 【授業への取り組み態度 10, プレゼンテーション 10】

【E. 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	長岡高専計算機システム概説, 情報の概念	
2	Windows の基本操作	
3	インターネットのしくみ, ルール, マナー	
4	電子メールのしくみ, ルール, マナー	
5	情報の収集・整理(1)	
6	情報の収集・整理(2)	
7	情報の収集・整理(3)	
8	情報の発信・交換と評価	
9	演習 1 報告書の作成	
10	情報の収集・整理・加工・表現(1)	
11	情報の収集・整理・加工・表現(2)	
12	情報の収集・整理・加工・表現(3)	
13	情報の収集・整理・加工・表現(4)	
14	演習 2 報告書の作成	
-	前期末試験	試験時間: 50 分
15	試験解説と発展授業	

後期

回	内容	備考
1	問題解決の方法論	
2	コンピュータの仕組み	
3	情報通信ネットワーク	
4	情報のデジタル表現(1)	
5	情報のデジタル表現(2)	
6	演習 3 デジタル情報	
7	コンピュータ上の問題解決(1)	
8	コンピュータ上の問題解決(2)	
9	演習 4 データの解析・処理	
10	演習 5 データの解析・処理	
11	情報の管理とセキュリティを守る技術	
12	演習 6 プレゼンテーション資料の作成	
13	演習 7 プレゼンテーション資料の作成	
14	演習 8 プレゼンテーション(学習発表会)	
-	後期末試験	試験時間: 50 分
15	試験解説と発展授業	